

他の治療選択について

① 薬物治療

② さまざまな標的領域へのDBS（深部脳刺激）など

DBSは、淡蒼球を含む脳のさまざまな領域を標的とする両側性パーキンソン病に対し、安全かつ有効であることが承認されている治療です。DBSでは、治療期間中、脳内深くに挿入された2本のワイヤに接続されたバッテリーが、胸部に埋め込まれます。これらを体内に埋め込むために、手術が必要になります。長年にわたって使用できる充電式電池か、2・3年に1回交換が必要となる非充電式モデルのいずれかが使用されます。また、体内に金属が埋め込まれることになるため、MRI撮像ができない場合があります。注意が必要です。

③ RFアブレーションやガンマナイフも、同じことを実施するものですが、これらも研究中であり、この目的での使用は認可を受けていません。